

2024年2月1日



路線バス（乗合バス）の上限運賃変更の認可申請について

山交バス株式会社（本社：山形県山形市 代表取締役社長 高橋 智）は、本日 2024 年 2 月 1 日、国土交通省東北運輸局に乗合バス運賃の上限運賃変更の認可申請を行いました。

申請理由及び申請概要等は以下の通りです。ご利用のお客様におかれましては、何卒、事情をご賢察のうえ、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

1. 申請理由

当社は 2008 年 12 月の前回改定以来、消費税率の引き上げや軽微な運賃改定を除き約 16 年間にわたり現行の運賃水準による輸送サービスの提供に努めてまいりました。

路線バス事業は少子高齢化やマイカーとの競合による利用者の減少に加え新型コロナウイルスの流行による行動様式の変化により移動需要が減少し、事業継続に必要な収入の確保が厳しい状況が続いております。

また、深刻な運転士不足による人材確保のための待遇改善や燃料費、資材等の物価高騰、安全を確保するための設備投資等により輸送コストが上昇しており、収支面の改善が急務となっております。

このような経営環境において、今後も安全・安心で持続可能な輸送サービスを提供し、地域の移動を支える公共交通事業者の使命を果たすためには運賃改定による収支改善が必要と判断したため、今般認可申請を行ったものです。

2. 申請概要

- (1) 申請日 2024 年 2 月 1 日
- (2) 実施予定日 2024 年 4 月 1 日
- (3) 対象区間 一般路線
- (4) 上限運賃（※1）の平均改定率 20.7%

実施運賃（※2）の平均改定率は 10%程度を予定しております。

※1 上限運賃とは、一般乗合バス事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額です。

※2 実施運賃とは、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客様から収受する運賃額です。実施運賃については現時点での予定であり、変更となる場合があります。

(5) 上限運賃比較表

運賃制度	上限運賃		実施運賃 (予定)	
	現行	申請	現行	申請
対キロ区間制				
基準賃率	49 円 90 銭	60 円 50 銭	—	—
初乗運賃	190 円	220 円	190 円	220 円

(6) 主な実施運賃比較表

片道運賃		通勤定期券 (1 か月)	
現行運賃	実施運賃 (予定)	現行運賃	実施運賃 (予定)
190 円	220 円	7,980 円	9,240 円
200 円	230 円	8,400 円	9,660 円
210 円	240 円	8,820 円	10,080 円
220 円	250 円	9,240 円	10,500 円
230 円	260 円	9,660 円	10,920 円
240 円	270 円	10,080 円	11,340 円
250 円	280 円	10,500 円	11,760 円
260 円	290 円	10,920 円	12,180 円
270 円	300 円	11,340 円	12,600 円
280 円	310 円	11,760 円	13,020 円
290 円	320 円	12,180 円	13,440 円
300 円	330 円	12,600 円	13,860 円
310 円	340 円	13,020 円	14,280 円
320 円	350 円	13,440 円	14,700 円
330 円	360 円	13,860 円	15,120 円
340 円	370 円	14,280 円	15,540 円
350 円	380 円	14,700 円	15,960 円
360 円	390 円	15,120 円	16,380 円
370 円	390 円	15,540 円	16,380 円
380 円	400 円	15,960 円	16,800 円

(7) 輸送人員および収支状況

		輸送人員	収支状況
2022 年度 (実績年度)		5,053 千人	△337,518 千円
2024 年度 (平年度推計)	改定前	5,255 千人	△347,052 千円
	改定後	5,050 千人	△189,578 千円

※2024 年度改定後の輸送人員および収支状況は申請上限運賃での推計値です。

※申請数値は貸切バス・高速バス等は含まないため、決算等の公表数値とは異なります。

3. これまでの経営合理化状況および今後の取り組み

当社はこれまで、ご利用状況に応じた運行ダイヤの見直しや車両の小型化、エコドライブ推進による燃料費節減、業務システム導入による省人化等を行い経営の合理化に努めてまいりました。

今後もおご利用状況に応じた運行計画や路線再編により輸送サービスの効率的な提供に努めてまいります。また、業務オペレーションの見直しやデジタル技術を活用した業務改善に取り組むなど、さらなる経営合理化を進めてまいります。

4. サービス向上に向けた取組

当社では 2022 年 5 月に地域連携 IC カード「yamako cherica」を導入しております。これによりキャッシュレス決済が実現し乗降時の時間ロスも低減されました。今後もキャッシュレス決済手段の拡充を図りスムーズな運行に努めてまいります。主要路線には既にバスロケーションシステムを導入しており、今後は行政と連携した新たな運行データの活用を進め、お客様への車両位置等の情報提供を拡充していく予定です。また、計画的な車両更新を行い安全性を確保するとともに電気バスの導入等による環境負荷の軽減にも取り組んでまいります。今後も地域や行政と連携しながらお客様のニーズに応じたサービスを展開し、利便性の向上に努め、お客様の増加に向けて取り組んでまいります。

本件に関するお問い合わせ先

山交バス株式会社 営業部乗合課 023-647-5172